

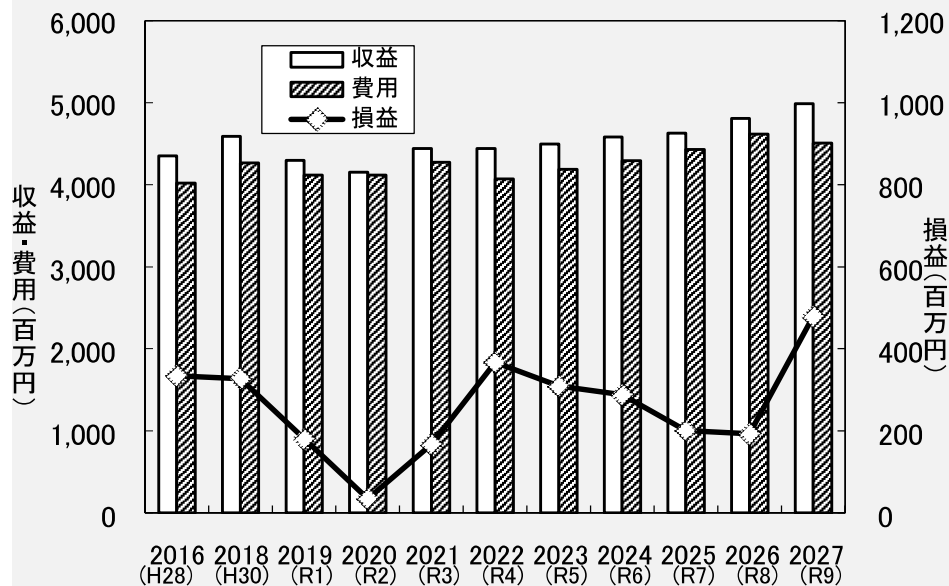
# 第5 各事業の行動計画（地域振興整備事業）

課題	行動計画	数値目標	R3見込	R9目標
多様な企業ニーズに対応した工業用地等の適時・適切な供給	工業用地開発情報の収集	—	—	—
	事業に対する顧客・県民の理解の促進	—	—	—
	市町による開発可能性調査事業の推進	市町への助言・支援地区数	年10地区	年10地区以上
	迅速かつ高品質な用地の供給と造成対象用地の拡大#	新規工業用地等の造成※	H30-R3累計 (8区画) 13.2ha	R4-R9累計 5地区 26.2ha
新たな事業展開と経営の健全性の確保	先行用地造成・供給の加速化と効率的な事業執行	団地別事業費回収率	—	100%以上
		資金不足比率	資金不足なし	資金不足なし

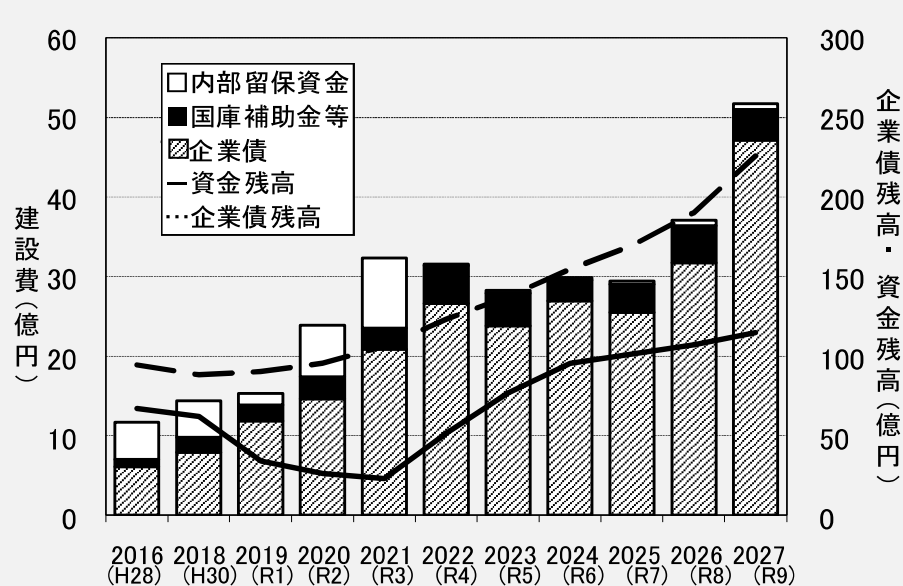
※2032（R14）年度までに10地区、113.6haを造成する計画の一部

# 第6 財政収支計画（工業用水道事業）

## 収益・費用・損益



## 建設改良費と資金残高・企業債残高



### ○収益

- ・各年度の費用を賄うとともに、資金を確保するためR4以降の給水収益を増加
- ・給水収益はR9には47億円が必要（H28比1.1倍）

### ○費用

- ・建設改良工事の増に伴い減価償却費が漸増
- ・最大となるR8は46億円が必要（H28比1.2倍）

### ○損益

- ・各年度の損益は、0.3億円～5億円程度で推移

<特別利益は見込まない>

### ○施設の本格的な更新等

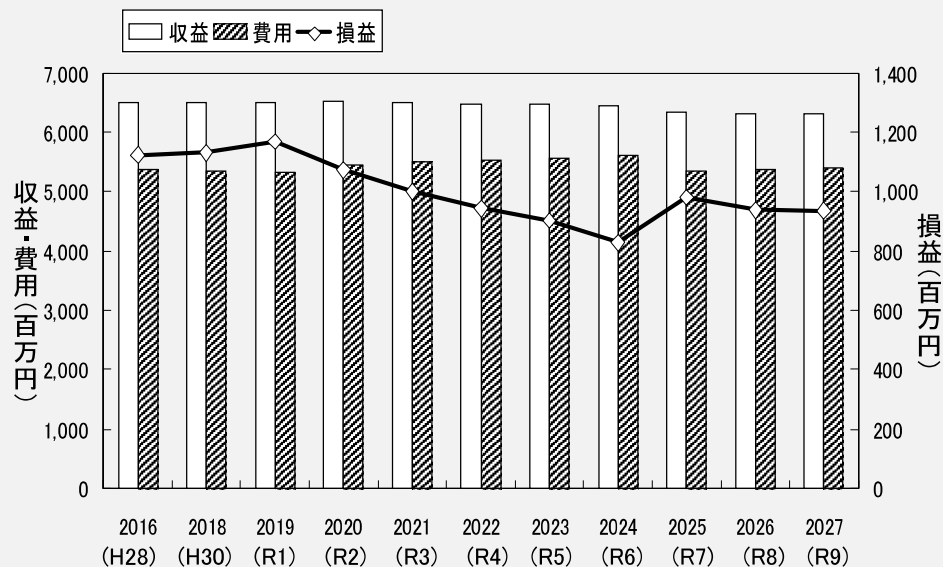
- ・R4以降各工水で順次更新基準年を迎え、建設改良費が増加
- ・R8以降ふじさん工水（仮称）のポンプ場新設に伴い増加

### ○内部留保資金の確保

- ・更新財源として国庫補助金を最大限活用
- ・補助対象外分は企業債の借入れなどにより対応（R3までは実績（見込）による資金充当）
- ・企業債残高は増加

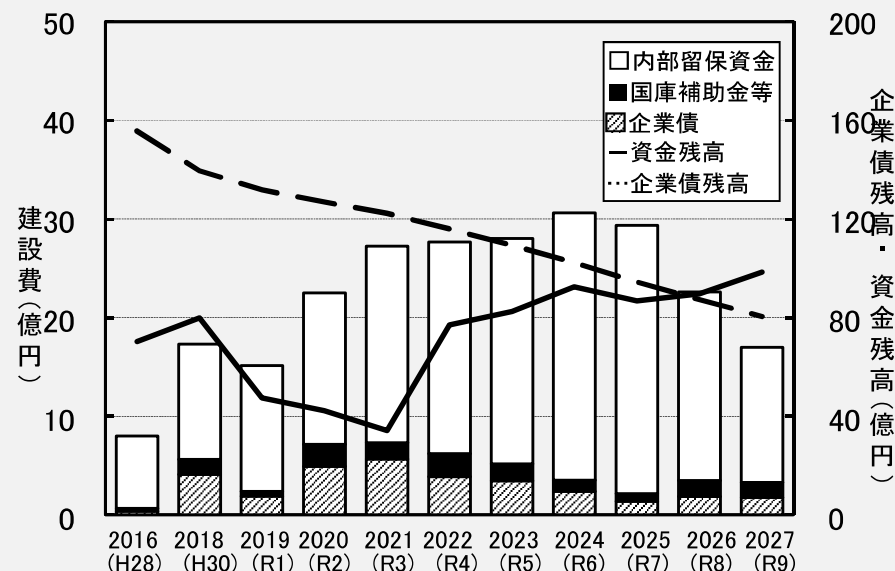
# 第6 財政収支計画（水道事業）

## 収益・費用・損益



- 収益
  - ・給水収益は漸減傾向にあるが、H28並を確保しR4以降も単年度黒字を維持
- 費用
  - ・最大となるR6は56億円が必要（H28比1.04倍）
- 損益
  - ・各年度の損益は、8億円～12億円程度で推移

## 建設改良費と資金残高・企業債残高



- 施設の更新等
  - ・R6～R7は遠州水道の中央監視設備更新により増
- 内部留保資金の確保
  - ・更新財源として内部留保資金を活用
  - ・一部を国庫補助金や企業債の借入で対応
  - ・企業債残高は減少